

1)

担当：星野潮

題： 予防接種未接種の成人における SARS-Cov-2 抗体について

結論： 検査で COVID-19 陽性となった予防接種未接種の成人のほとんどで、スパイク蛋白に対する抗体が陽性であったが、臨床的に免疫力があるかは不明である。

原題： Alejo JL et al. Prevalence and durability of SARS-CoV-2 antibodies among unvaccinated US adults by history of COVID-19.

JAMA 2022 Feb 3; [e-pub].

(<https://doi.org/10.1001/jama.2022.1393>)

本文： ソーシャルメディアで募集した 816 人の予防接種未接種の健康成人（平均年齢 48 歳）における横断的評価で、SARS-Cov-2 感染者が予防接種群に比べ抗体量が多かった。研究参加者は以下のカテゴリーに分類された。それぞれ 250 から 300 人のグループで、（1）検査で COVID-19 陽性者、（2）COVID-19 感染者と考えられるが検査未施行（確定診断無し）、（3）COVID-19 の感染が無く、検査を受けていないもの。参加者のスパイク蛋白レセプター結合抗体（抗-RBD）の検査は市販の検査キットで行われた。

抗-RBD 抗体は COVID 確定診断者の 99%、COVID 未確定者の 55%、COVID 未感染者の 11% で認められた。COVID 確定診断者のグループの検査は感染後平均 9 ヶ月目の時点で行われた。（最長 20 ヶ月）

コメント： 便宜的なサンプルによる横断的な評価は脆弱性があるが、結果は患者の評価に有用と考えられる。診断確定されたほとんどの患者は（前述の期間においては）抗体が検出され、安心材料となるであろう。しかし臨床的な免疫力については保証がないことを忘れてはならない。さらにこの結果から、確定診断の検査を受けずに「COVID に感染したことがある」と言う多くの患者は、実際は SARS-Cov-2 に感染していないことが示唆される。

2)

担当：小林祥之

題：CKD 患者の末期腎臓病への移行予測

結論：新たな CKD 計算式は従来の計算式と同様の正確さで ESRD（末期腎臓病）を予測する

原題：Bundy JD et al. Prediction of end-stage kidney disease using estimated glomerular filtration rate with and without race: A prospective cohort study.

Ann Intern Med 2022 Jan 11; [e-pub]

(<https://doi.org/10.7326/M21-2928>)

KFRE および CKD-EPI の計算式はこちら

<https://viajwat.ch/3JmA2kb>

<https://viajwat.ch/3Jkgpcy>

本文：CKD 患者において、eGFR 計算の重要な点は ESRD を予測することであり、臨床医はそれによって適切でタイムリーな介入ができる。Kidney Failure Risk Equation (KFRE) と呼ばれる計算ツールは 4 つの数値(年齢、性別、eGFR、尿中アルブミン・クレアチニン比)から 2 年間で ESRD への進行リスクを評価する。本研究では 3900 人のアメリカ人の CKD 患者において、研究者は KFRE の予測値の正確さを人種差による影響を調べた。そのために 2021 年バージョン eGFR を用いた KFRE 計算式と、それ以前の eGFR を用いたものと比較検討した。その結果、2021 年バージョンとそれ以前のバージョンと比較して KFRE では 2 年間における ESRD の発生率の予測の正確性が eGFR のみを使用するより向上していた。人種差を調整した以前のバージョンでは ESRD の予測では正確な結果は得られなかった。

コメント：(Daniel D. Dressler MD)：この分析では人種差は eGFR や ESRD の予測に臨床的にはそれほど必要ではない。さらに KFRE は eGFR に比べより正確な予測が可能になっている。現在、National kidney foundation や America society of nephrology では人種を考慮しない新しい CKD-EPI 計算式での eGFR を推奨している。